

捕獲事件記録

書記	檢察官	擔任評定官	拿捕船名	受理年月日	事件番號
山島	中村	森	英國船 ツットンライト	昭和十七年一月十二日	第三四一號
抗議期間満了日	終局年月日	訴願期間満了日	船長	及指揮官	拿捕シタル艦船部隊
昭和十七年八月三十一日	昭和十七年七月三十日	昭和十七年七月二日	島山耕一郎	厦門方面特別根拠地隊司令官	佐世保捕獲審檢所











文書目録	丁数備考
後志書(存書及之定)終本送付(定)	二七
右報揚載捕獲ノ件(存書及之定)終本送付(定)	二八
右定執力捕獲ノ件	三〇

日本標準規格B列四號

厦根機密第二九號三

昭和十六年十二月二十五日

厦門方面特別根據地隊司令官

佐世保捕獲審檢所長官啟

拿捕船報告ノ件送付

一 拿捕船報告 (第一回)

但シ英船「カルクメンター」同(艘船)「ランニングライト」

「ゴットンライト」ニ對スルモノ

(別紙添)

石巻本也

昭和十七年一月十三日

佐世保捕獲審檢所

山邊九之助

(終)

第一丁



第三丁

拿捕船

コワトシ  
ライト

報告



要	噸數		項 目 記 事
	船ノ長 幅	船ノ幅	
船ノ長 幅	四二、五米	一〇、三米	<p>前所有者 船種及船名 製造年月日 拿捕經歷</p> <p>モラー汽船会社 解船 コットンライト 二五八四年 國籍 英國</p> <p>一六、一三、五英汽船「カルメン」モラーレニ際船「ランニング」ライト ト共ニ東航サレ香港ニ向ケ上海邊一ニ九兄弟嶼附近ニ 於テ拿捕サレ一三、一〇、厦根ニ引渡完了</p>
總噸數	四五七、五二屯	四三八、〇四屯	
登錄噸數			
排水量			

第一船舶ノ一般狀況



備考	主ナル載貨	乗客	乗員		
			幹部	運航関係	事務関係
	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ
第二拿捕當時ノ情况					
一拿捕船ヲ發見シ停船セシムルニ至ル迄ノ狀況					
昭和十六年十二月九日					

無線電信関係	航海関係	燃料清水等混	主機械制式数馬力	速力	吃水	目
ナシ	揚錨機 揚錨機 揚錨機 揚錨機 揚錨機		錐制式数	航最海	無荷	船ノ深サ
ナシ	手捲揚錨機一基		茂霞機數力量			三六四米
	錨ニ錨鎖 右四節 左三節		操舵装置			
	人カ					



場所 兄弟興、一五一度六埋  
停船セシメタル理由

英國國旗ヲ掲揚セル汽船「カルメンモラー」ニ乗航サレツ、アリシ  
タメ

停船セシムルニ至ル迄、彼我ノ行動處置

廈門附近偵備船協成丸ハ錫石灣ヨリ廈門ニ取投、途次前記場  
所ニ於テ乗船「カルメンモラー」ト共ニ拿捕統航ヲ命ジ同日一ニ  
廈門ニ向ケ發進セリ

二、臨檢ノ狀況

臨檢士官名 海軍豫大尉 石井留吉

昭和十六年十二月 十日

臨檢ノ狀況 船舶書類ノ檢査ヲ受ト共ニ乗船「カルメンモラー」船長ニ所

三、拿捕シタル理由

要事項、訊問ヲ行ヒ船舶書類ヲ押収セリ 載貨通貨、有價証券、貴重品ナシ  
取檢ノ結果香港政廳ニテ使用サルベギ許給ニシテ英國國籍ナルコ  
トヲ確認シタルタメ

四、拿捕後引渡迄ノ狀況

一、二、三、九、一、二ニ收成死ハ乗船「カルメンモラー」ニ  
乗船「ランニングライト」ト共ニ夏門ニ向ケ發進同日一六三ノ東坡島ノ南西方三  
哩ニ於テ取根ヨリ取援ノ勞三若松丸ニ出立ヒタルヲ以テ拿捕船ヲ獲送テ同船ニ引継ギ  
廈門ニ取投爾後三若松丸拿捕船ヲ護送シ三三ノ本港着翌十日厦  
門ニ引渡完了

五、其他  
ナシ

第三、船舶關係書類

- 一、船舶國籍證書 一
- 二、航海日誌 ナシ



- 三、海員名簿 一
- 四、乘客名簿 ナシ
- 五、備船契約書 ナシ
- 六、船荷證券及送狀 ナシ
- 七、載荷目録 ナシ
- 八、出港證書 ナシ
- 九、健康證書 ナシ
- 十、船舶賣渡證書 ナシ

第四、其他捕獲審檢上参考トナル可キ事項

一、香港政廳用ニ供スルタメ香港ニ曳航サルベキ特別許一の證ヲ有ス

意見

- 一、本船ハ敵國籍ニシテ香港政廳ニ供用豫定ナルヲ以テ明カニ敵船ナリ捕獲可然ト認ム
- 二、乗員ハ支那人ニシテ克ク當方ノ指示ニ従ヒ誓約ヲ遵守セリ 適當ナル時機ニ開放可然ト認ム
- 三、本船ハ廈門ニ於ケル運賃用又ハ軍港地ニ於ケル軍需品運搬用トシテ使用シ適當ノモノト認ム

昭和十六年十二月二十五日

廈門方面特別根據地隊司令官

畠山耕一郎



15

供述書

英國解船

ユトシライト

一、右の本官ニ於テ拿捕シタルニ付捕獲審檢相成度シ  
一、拿捕ノ顛末及理由ハ別紙船舶拿捕ニ関スル調書ニ記載ノ  
通ナルヲ以テ該記載ヲ引用ス

昭和十六年十二月二十五日

廈門方面特別根據地隊 海軍豫備大尉 石井留吉

佐古保捕獲審檢所長官 草野豹一郎 殿

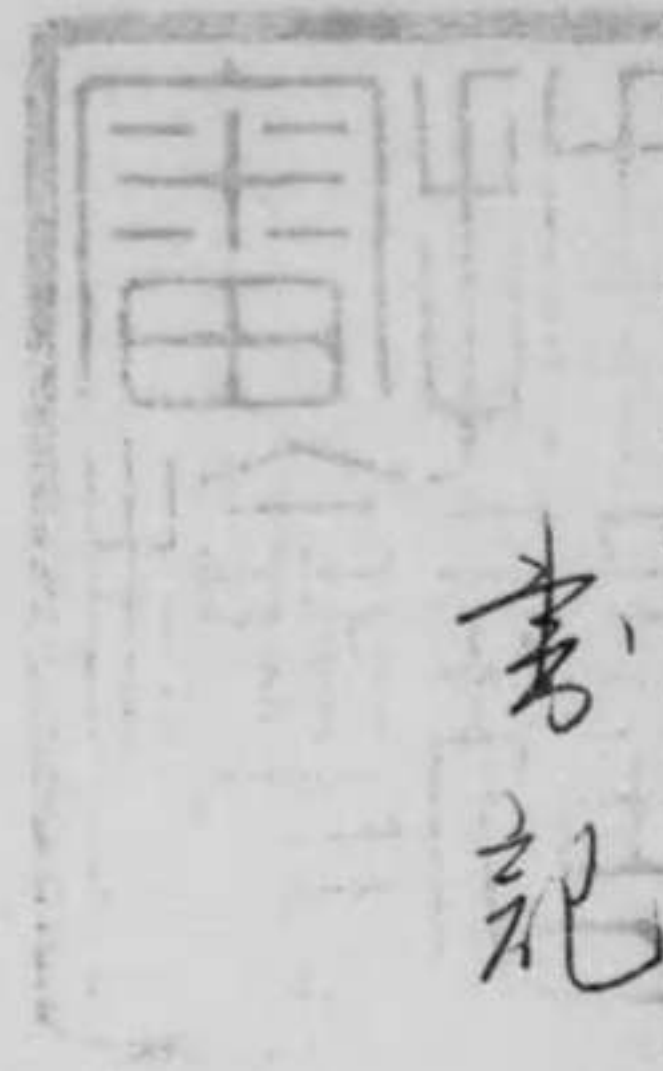
第七丁

海軍









右騰本也

昭和十七年一月十三日

佐々木指獲高松新

書記

吉

田

健

一



佐世保補給所



昭和十六年十二月十日

厦門方面特別根據地隊

臨檢士官海軍豫備大尉石井留吉

當時ノ儘毫モ変更シタルコトナシ

四. 載貨、通貨、有價証券、貴重品ナシ

五. 本官ハ船長ニ封シテ前記船舶書類ニ封シ 船長ノ封印ヲ

求メタリ

六. 本官ハ本調書ニ通ラ作成シ一通ハ署名シテ之ヲ船長ニ交付シ

タリ



別紙第二號

昭和十六年十二月十日

徽傭船協成丸船長 森 長八

厦門方面特別根據地隊參謀殿

拿捕船ヲ發見シ停船セシムルニ至ル迄狀況報告

(一) 拿捕年月日 昭和十六年十二月九日

(二) 拿捕船船名 CARMEN MOLLER. NO.2 外重油運搬船二隻

(三) 場所 厦門港ノ南方岸兄弟嶼ノ五度約六哩沖合

(四) 停船セシムル理由

(一) 八日午前土時四十五分畏クモ対英米宣戰布告大詔煥發アリ

(二) 敵國ノ國旗掲揚シ重要ナル燃料運搬ノ軍事行動ナル事

(三) 自船厦門根據地隊司令官麾下ニ於テ作戰ニ從事中ニ處

置トレテ



(五) 停船ニ至ル迄ノ彼我ノ行動ニ處置

本船八碓石湾ニ於ケル任務ヲ遂行シ度所ニ向ケ碓石港中九日午前  
九時頃ヨリ怪船南下シ来ルヲ發見シ是レガ監視ニ努メタルニ  
同九時五十五分敵國商船ヲ認メタリ依ツテ本隊ニ報告ノ必要  
アリ確實ナル視認ヲ得ル可ク同時本船ハ敵船ノ右舷前方ニ向ケ  
全速力ニ突進シ同十時十五分コレニ至リ敵ノ態度ヲ監視スルニ全ク  
仇敵英國船ニシテ無防禦ヲシテ尙本船ハ右方ニ急回轉ヲナシ之ヲ  
一周シ被曳船ノ一隻ニ付々様子ヲ觀察スルニ全ク無防禦ト認メ  
タリ

依ツテ敵船ノ左舷後方ヨリ曳船ニ接近シ信號(ON)ヲ  
掲揚シ停船ヲ命シタリ彼ハ直ニ回答シ機関ヲ停止セリ依  
ツテ彼我ノ距離ヲ充分ニ保ツコトニ努メ暫時彼ノ態度ヲ監視

スルニ反抗様子ナシト確認セシタメ信號(JT)(AAMQ)ヲ掲  
揚シ我ニ繞航ヲ命シタルニ直ニ回答旗ノ全揚ヲ認ム

依ツテ我レハ小銃ヲ携ヘタル武装兵一名ヲ敵船ノ見易メ対舷  
ノ船橋ニ現ハシテ之ヲ威圧シテ、彼ノ左舷側ヨリ前面ヲ接近  
シテ轉回シ繞航ヲ指示セルニ怪シキ態度ヲ示シタルニ依リ直ニ  
ニ急回轉シテ小銃ニ發射ヲ射撃スルニ狼狽シテ十時十五分我  
ガ命ニ服シ繞航シ得ルニ至ラシメタリ同時冲合ニ黒煙ヲ發  
見シ近寄ル船ヲ認メタルニ敵ノ護衛艦艇事ヲ考慮シ  
本隊ニ拿捕報告スルト共ニ應援ヲ依頼セリ 同時信號  
(B)ヲ掲揚シ全速力ヲ命シ時速七哩ニテ繞航セシメ午後  
五時三十分東提島ノ南西方ニ至リ本隊ヨリノ應援艇ニ  
必會シテ拿捕船ヲ應援隊ニ托シ辛クシテ拿捕完成



セリ我ハ直々ニ報告ノタメ廈門ニ向ケ先航セリ

其ノ他

本船速カラ示シ彼レヲ威圧スルニ武装兵ヲ現シテ是レヲ  
強化シ外本船ノ微備船番號等ニ依リ我ノ武器整備  
如何ニ付キ彼ノ想像恐怖心ヲ利用シ得ルタメ成ル可ク彼我  
近距離ヲ避ケルニ努ム以テ本船ノ武器トセリ  
被捕獲船ハ約六百五十噸汽艇八百五十噸搭載ノ重  
油タンク船ニ隻上海ヨリ香港ニ向ヒワ、アリシモノナリ

(終)

佐世保捕獲審檢所

右謄本也

昭和十七年一月十三日

佐世保捕獲審檢所

吉田 健一



第三二丁



書 印  
審 録 預

昭和十七年一月十三日

本翻本出

通事選任書

廈門警備隊囑託

劉錫類

右者本件ニ付利害關係ナキコトヲ確メ通事ニ選任ス

昭和十七年二月 日

於廈門海軍軍法會議

佐世保捕獲審檢所

擔任評定官

佐世保





齋藤 瑞安官

坂本 龍馬

近世財賦總論

近世財賦總論

明治十一年二月 日

本書本邦ニ付味害關聯ナキコトヲ斷テ取奪ニ懸ユス

門前齋藤 瑞安

齋藤 瑞安

取奪 懸 丑 書

聽取書

英國船コックトライト 捕獲事件ニ付昭和十一年

二月 日 廈門海軍ニ法會議ニ於テ

評定官 齋藤 瑞安ニ對シ

吉定揚 ノ爲シタル申供左ノ如シ

一 氏名ハ 吉定揚

一 年齢ハ 四十七歳

一 職業ハ 船長

一 國籍ハ 中華民国

一 住所ハ 上海市大平橋ハ第拾八号

一 出生地ハ 上海市

一 軍人ナハツト否







余捕房時日本ト英米トノ間ニ戦争カ始マシトハ  
知ラセ又テシタ。

右ハ書記之ヲ録取シ本人ニ讀聞カセタルニ相違  
ナキ旨陳述シタルニ依リ共ニ署名捺印ス

前同日同所ニ於テ

佐世保捕獲審檢所評定官

佐藤雄雄

佐世保捕獲審檢所書記

山邊九之助

通事 劉錫類

申供者 吉定揚

第一六丁

第九號ノ二 日本標準規格B列五號



廈門方面特別根拠地隊司令官  
 佐世保捕獲審檢所長官殿  
 照和十六年十二月二十五日  
 廈根機密第三一號、二六  
 左、件送付  
 拿捕船舶関係書類別紙、通送付致候  
 (別紙添)

(終)

第一七丁



(別紙添)  
 拿捕船関係書類送付  
 五、半送付

(終)

叙官特別長官  
 厦門方面特別長官  
 船十六年十二月二十五日  
 叙官特別長官

別紙

拿捕船関係書類目録

船名	カビヤ	江蘇	新華	上海	上海	上海	上海	上海	上海	上海	上海	上海	上海	上海	上海	上海	上海	上海
船國籍證書	/		/	/	/	2	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
航海日誌簿	3	/	2	/	/	2	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
海員名簿	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
乘客名簿		/				/												
備船契約書																		
船荷証券						1組												
載貨目錄						1												
出港證書	/		/	/	/	1	2											
健康證書			/			1												
船舶責渡證書						1												
其他	/	3	/	/	3	3	8											







捕獲事件ニ付昭和十七年  
 二月四日廈門海軍々法會議  
 ニ於テ  
 評定官 森 壽 雄 ニ對シ  
 ユージン、ペトロウイツチ、ウイノクウニア  
 爲シタル申供左ノ如シ  
 一 氏名ハ ユージン、ペトロウイツチ、ウイノクウニア  
 EUGENE PETROVITCH VINO KOUROFF  
 一 年齢ハ 五十八歳  
 一 職業ハ 船長  
 一 国籍ハ ロシヤ(白系)  
 一 住所ハ 上海マダニンダ街一〇五  
 105 ROUTE MAHNING  
 DHANGHAI  
 一 出生國ハ ロシヤ、クロンスタット (KRONSTADT, RUSSIA)  
 一 元ロシヤ海軍大尉デシタカ、一九二七年ニロシヤヲ去リマシタカ

聽取書

カルメン、モラー 捕獲事件ニ付昭和十七年

二月四日廈門海軍々法會議 ニ於テ

評定官 森 壽 雄 ニ對シ

ユージン、ペトロウイツチ、ウイノクウニア 爲シタル申供左ノ如シ

一 氏名ハ ユージン、ペトロウイツチ、ウイノクウニア  
EUGENE PETROVITCH VINO KOUROFF

一 年齢ハ 五十八歳

一 職業ハ 船長

一 国籍ハ ロシヤ(白系)

一 住所ハ 上海マダニンダ街一〇五  
105 ROUTE MAHNING

一 出生國ハ ロシヤ、クロンスタット (KRONSTADT, RUSSIA)  
DHANGHAI

一 元ロシヤ海軍大尉デシタカ、一九二七年ニロシヤヲ去リマシタカ



ラ現在ハ軍人ニアリマセヌ
一九四一年十二月一日以洋曳船カルメン、モラーノ船長ヲシテ居リマス
船主ノ
名簿ハ モラーライン、コムパニー MOLLER LINE CO. LID.
國籍ハ 英國
本店所在地 上海「香港上海銀行ビルディング内」 HONGKONG & SHANGHAI BANK BUILDING, SHANGHAI
營業ハ 海運業
備船關係ハアリマセヌ
私ハ右船主カラ備ハレタモノデス
カルメン、モラーハ
種類ハ 汽船デス

第九號ノ一 日本標準規格B列四號

(ロ)噸數ハ 總噸數 三六六噸

純噸數 二一〇噸

(イ)船籍港ハ 上海

(ニ)國籍ハ 英國

(ホ)揚揚ノ權利ヲ有スル國旗ハ 英國旗

(ハ)従事スル業務ハ曳船デス。平素ハ上海ニ於テ曳船ニ従事シテ居タノデスガ、今回始メテ香港ニ向ケ航行中デアツタノデス

本船ハ舳船二隻 (ランニング、ライト及コットン、ライト)ヲ曳イテ一九四一年十二月五日午後上海ヲ渡シ香港ニ向フ途中十

二月九日午前九時半頃兄弟島附近(廈門南方約四〇浬)ニ於テ日本海軍警戒船(船名ハ記憶シマセヌ)ヨリ旗信號ニ依リ

停船ヲ命セラレ且廈門ニ隨航セヨト命セラレマシタ



夫レテ該船舶ニ隨航シテ廈門港ニ到リマシタトコロ日本海軍士官カ本船ニ乗込ンテ來テ本船ヲ拿捕シタノデアリマス

右航海ノ  
發航地ハ 上海

最終到達地ハ 香港テ途中寄港シタ處ハアリマセヌ  
實ハ十二月始頃ニ前述ノモラーライン、コムパニー(船主)ヨリ香港行キノ準備ヲ命セラレ十二月五日ニ出港命令ヲ受ケテ上海ヲ發ツタノデアリマス  
右會社ハ英國海軍官憲ノ命令ニ依ツテ本船ヲ香港ニ廻航サセタモノデス。本船ノミナラス總テノ英國船ハ英國政府ノ命令ヲ受ケタノデス  
夫レハ確カデス

一 拿捕當時載貨ハアリマセヌ  
一 拿捕當時ノ乗員ハ

(イ) 人數 船長共三十三名 (尙將船 *RUNNING LIGHT* 及 *COTTEN* ライトニ夫々五名宛乘組ンテ居タノテ之ヲ加ヘルト合計四十三名デス)

(ロ) 國籍 船長(私)ハロシヤ人、他ハ全部支那人  
(ハ) 船員中軍人軍屬ハ 無シ

一 拿捕當時乗客ハナシ  
一 拿捕當時船舶書類ハ完備シテ居リマシタ

ソシテ夫等ノ書類ハラランニング、ライト、コットン、ライト、ノ書類モ共ニ廈門ニ於テ日本海軍士官ニ提出シマシタ  
變造破棄等爲シタル書類ハアリマセヌ



一 拿捕當時船舶ニ破損其ノ他ノ異状ハアリマセヌデシタ  
 一 拿捕當時私ハ開戦ノ事實ヲ知リマセヌデシタ  
 無線電信機械ガ破損シテ居タノデ戦争ガ始ツタコトノ報知ヲ受  
 ケナカツタノデス

一 拿捕後ニ船舶載貨等ニ變動ヲ加ヘテハ居リマセヌ  
 一 尙曳イテ居タ船ランニング、ライト及コツトン、ライトノ二隻  
 共

船主ハ モラーライン、コムバニー

總噸數ハ 四七五噸

國籍ハ 英國

掲揚ノ權利ヲ有スル國旗ハ英國旗デアリマス

右ハ書記之ヲ錄取シ本人ニ讀聞カセタルニ相違  
 ナキ旨陳述シタルニ依リ共ニ署名捺印ス

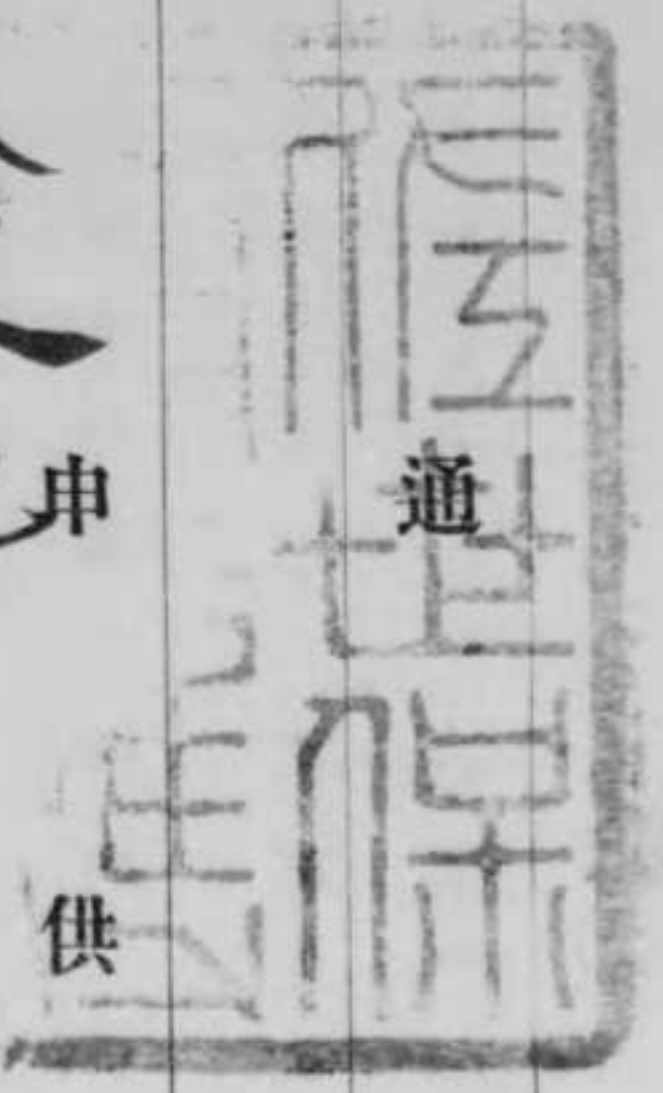
前同日同所ニ於テ

佐世保捕獲審檢所評定官 森 壽 雄

佐世保捕獲審檢所書記 山 邊 九 之 助

事 沖 田 春 善

者 C. Vinogradoff



右 藤本也申

昭和十一年二月十六日

佐世保捕獲審檢所書記 山邊九之助





佐捕 二〇二 號

調査書

船名 御座

昭和十七年 二月二十八日

佐世保捕獲審檢所

擔任評定官

佐藤 雄

佐世保捕獲審檢所檢察官

御中

コソトシライト  
了へタルヲ以テ之ガ取調書類ハ拿捕シタル艦船部

捕獲事件ニ付事實ノ調査ヲ

加册記録ニ編綴致置候條  
加册記録及送付候

Handwritten text on the reverse side of the document, including a large rectangular stamp and several lines of vertical writing.











25

本件ニ付昭和十七年五月二十五日佐捕乙第三九〇號ヲ以テ内閣印刷局  
官報部官報係並ニ「ジヤパンタイムス」社ニ左記要領ノ公告掲載方ヲ  
囑託シタリ

昭和十七年五月二十五日

佐世保捕獲審檢所

記

本件捕獲ハ昭和十六年十二月十日厦門外港ニ於テ帝國海軍ノ爲  
拿捕セラレ當處ニ於テ審檢ヲ爲スニ依リ利害關係人ハ公告ノ翌日ヨ  
リ起算シテ三十日以内ニ書面ヲ以テ當處ニ訴願スルコトヲ得  
右公告ス

昭和十七年六月二日官報並ニ「ジヤパンタイムス」ニ公告掲載  
済

341

（Faint, mostly illegible text, possibly a stamp or official notice, with some vertical lines and a seal at the bottom right.)



申請書

捕獲事件第三四一號

右事件ニ付利害關係人ヨリ法定期間内ニ訴願書ノ提出  
ナキヲ以テ審問ノ手續ヲ爲サス直ニ檢定相成度候也

昭和十七年七月二十一日

佐世保捕獲審檢所檢察官



佐世保捕獲審檢所長官 草野豹一郎殿

佐世保捕獲審檢所



本件検定書謄本ハ昭和十七年八月一日當廳検査官ニ  
送付シタリ

昭和十七年八月一日

佐世保備後審檢所  
菅記山下久

志

報告書



三八

第 一 號

本件ニ付昭和十七年九月四日佐捕乙第六八九號ヲ以テ内閣印刷局官報部官報係ニ檢定並ニ該檢定ハ昭和十七年八月二十二日確定シタル旨掲載方囑託ヲ爲シタリ

昭和十七年九月四日

佐 世 保 捕 獲 審 檢 所

昭和十七年九月十日官報掲載







讀臺ノ結果ノ要領

一、船名 コットン、ライト 一、船種 運糧船（機關ナシ） 一、船籍港 上海

一、總噸數 四五七噸五二 一、純（又ハ登録）噸數 四三八噸〇四

一、船長氏名 ユージン、ベトロウイ、ウイノクウロフ

一、住所 上海マダグニング街一〇五

一、國籍 ロシヤ

一、所有者氏名（又ハ會社名）

1（證第一號國籍證書ニ依レハ） エリック、モラー

II（船長申供ニ依レハ） モラー、ライン、コムパニー

一、住所（又ハ本店所在地）

I 上海 福州  
II 上海 香港 上海銀行ビルディング内

一、國籍 英國 英國

一、揚揚ノ權利アル國旗 英國旗

一、備船者氏名（會社名）

一、住所（又ハ本店所在地）

證第三號（特別許可書）及船長申供ニ依レハ本船ハ英國政府ニ徵用セラレ居タル疑アリ

一、國籍



一、搭載物件 ナシ

一、拿捕(イ)日時場所 十六、十二、十、廈門外港  
(ロ)拿捕者 廈門方面特別根據地隊(捕獲士官海軍豫備大尉石井留吉)

受 領 書

(事件第三四一號)

英國解船コットンライト號

右補艇事件檢定確定ノ上執行トシテ引渡ニ付檢定書ノ謄本ト共ニ受領致候

昭和十七年十月 五 日

海軍省兵備局長 保科善四郎

佐世保補艇事務所

檢察官 徳永榮吉 殿



